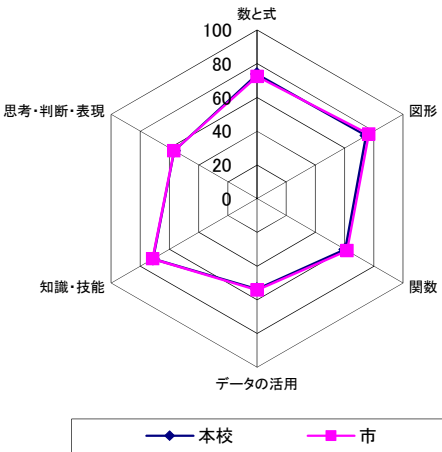


宇都宮市立雀宮中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	73.8	72.5	71.3
	図形	74.8	76.5	68.1
	関数	60.5	61.7	50.3
	データの活用	53.7	54.2	43.5
観点別	知識・技能	71.3	71.5	66.7
	思考・判断・表現	56.7	56.9	45.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	平均正答率は、3領域中では最も高く、市の平均を1.3ポイント、参考値を2.5ポイント上回っている。 ○同類項をまとめる問題や多項式の計算など、基本的な計算において、市の平均を上回っている。 ●平方根の大小比較や根号の乗除についての問題において、市の平均を下回っている。 二次方程式を解く問題において、参考値を大きく下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・乗法の公式や平方根の考え方が定着しておらず、二次方程式を解くことができていないので、演習問題を通して理解を深め、知識の定着を図っていく。
図形	平均正答率は、市の平均を1.7ポイント下回り、参考値は6.7ポイント上回っている。 ○三角形の高さを表す線分の作図をする問題において、市の平均を上回っている。 ●三角形の合同を証明する問題において、仮定の指す内容や三角形の合同条件を求める問題において、市の平均を下回っている。	・証明の理解を深めるためには、結論から逆算して、どのような定理や性質を使えば説明できるかを筋道を立てて考えることが必要となる。日々の授業の中で、穴埋め形式の問題を取り入れ、照明の流れを押さえるとともに、演習を通して定着させていく。
関数	平均正答率は、市の平均を1.2ポイント下回り、参考値は10.2ポイント上回っている。 ○関数 $y=ax^2$ の式を立式や1次関数の関係を表す表から、傾きや切片の値の正負を判断し、正しいグラフを選ぶ問題において、市の平均を上回っている。 ●ある1次関数のx軸、y軸との交点からできる三角形について、面積を求める問題において、市の平均を下回っている。	・関数では、比例・反比例(1年)、1次関数(2年)、 $y=ax^2$ (3年)の内容を学習するが、どれも共通して、条件に合う式を求めたり、グラフや表から式を求めたりする内容となるので、それぞれの特徴を押さえつつ、考え方を定着させていく必要がある。
データの活用	平均正答率は、市の平均を0.5ポイント下回り、参考値は10.2ポイント上回っている。 ○ヒストグラムから、中央値を読み取り、ふくまれる階級の階級値を選ぶ問題において、市の平均を上回っている。 ●四分位範囲を求める問題において、市の平均を下回っている。	・資料の活用は、箱ひげ図の特徴をとらえ、そこからどのようなデータを読み取ることができ、どういう場合に使うことが効果的かを再度確認する必要がある。また、相対度数やヒストグラムなど、知識として知っておかなければならない内容が定着が十分にできていないので、演習を重ね定着させていく。